

メスリ山古墳(こぶん)・コロコロ山古墳

メスリ山古墳は、校区（こうく）の東に位置（いち）する高田にある古墳。形は前方後円墳（ぜんぽうこうえんふん）。国の史跡（しせき）に指定（してい）され、出土品（しゅつどひん）は国の重要文化財（じゅうようぶんかざい）に指定されています。

出てきた器台型埴輪（きだいがたはにわ）は、高さ2.4メートル、直径（ちよっけい）1.3メートルで日本最大（さいだい）です。

名前の由来（ゆらい）は「メスリ」ではなく「メグリ」で周囲（しゅうい）を巡（めぐ）ることからきているのではと考えられています。



メスリ山古墳



石室（せきしつ）の天井石（てんじょうせき）

コロコロ山古墳は、校区の東に位置する阿部にある古墳。形は方墳（ほうふん）。出てきた物は桜井市指定有形文化財（さくらいししていゆうけいぶんかざい）に指定（してい）されています。なぜコロコロ山というのかはわかっていませんが、地元の人たちがこのようによんでいたことから名づけられたといわれてわれています。



コロコロ山古墳



コロコロ山古墳入口

→[檀原考古学研究所附属博物館（かしはらこうこがくけんきゅうじよふぞくはくぶつかん）HP](#)